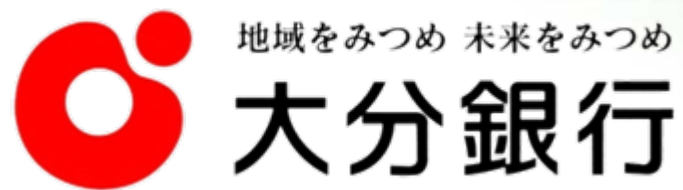
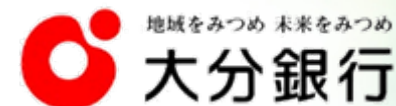


大分銀行 経営説明会



- I. プロフィール
- II. 平成21年度通期決算の状況
- III. 地域密着型金融の推進について
- IV. CSRへの取組み
- V. 配当・株価の状況

I. プロフィール



(平成22年3月31日現在)

1. 本店：大分市府内町3丁目4番1号

2. 創立：明治26年2月1日

3. 資本金：195億98百万円

4. 従業員数：1,623名 (嘱託・出向含む：1,819名)

5. 店舗数：103カ店

6. 預金等残高：2兆4,688億円

7. 貸出金残高：1兆6,664億円

I. プロフィール: 役員のご紹介



会長: 小倉 義人
(代表取締役)



頭取: 姫野 昌治
(代表取締役)



専務: 小金丸 重成
(代表取締役)



常務: 後藤 哲憲



常務: 三浦 洋一



常務: 鈴木 崇之
(東京支店長)

<取締役>

相談役	高橋 靖周
別府支店長	野々下 郁夫
本店営業部長	高原 一誠
事務統括部長	清水 進英
与信管理部長	渡部 智弘

<監査役>

常勤	中村 光政
常勤	後藤 富一郎
社外	河野 浩
社外	西 太一郎
社外	外山 邦夫

Ⅱ.平成21年度通期決算の状況

1 収益の状況

2 預金・貸金の状況

3 不良債権の状況

4 自己資本の状況

5 格付け機関からの評価

6 今期(平成23年3月期)の業績予想



1.収益の状況(単体)

経常収益・業務純益・コア業務純益・経常利益・当期利益について

○経常収益……………518億円(前期比 ▲26億円)
(一般企業の売上高に相当)

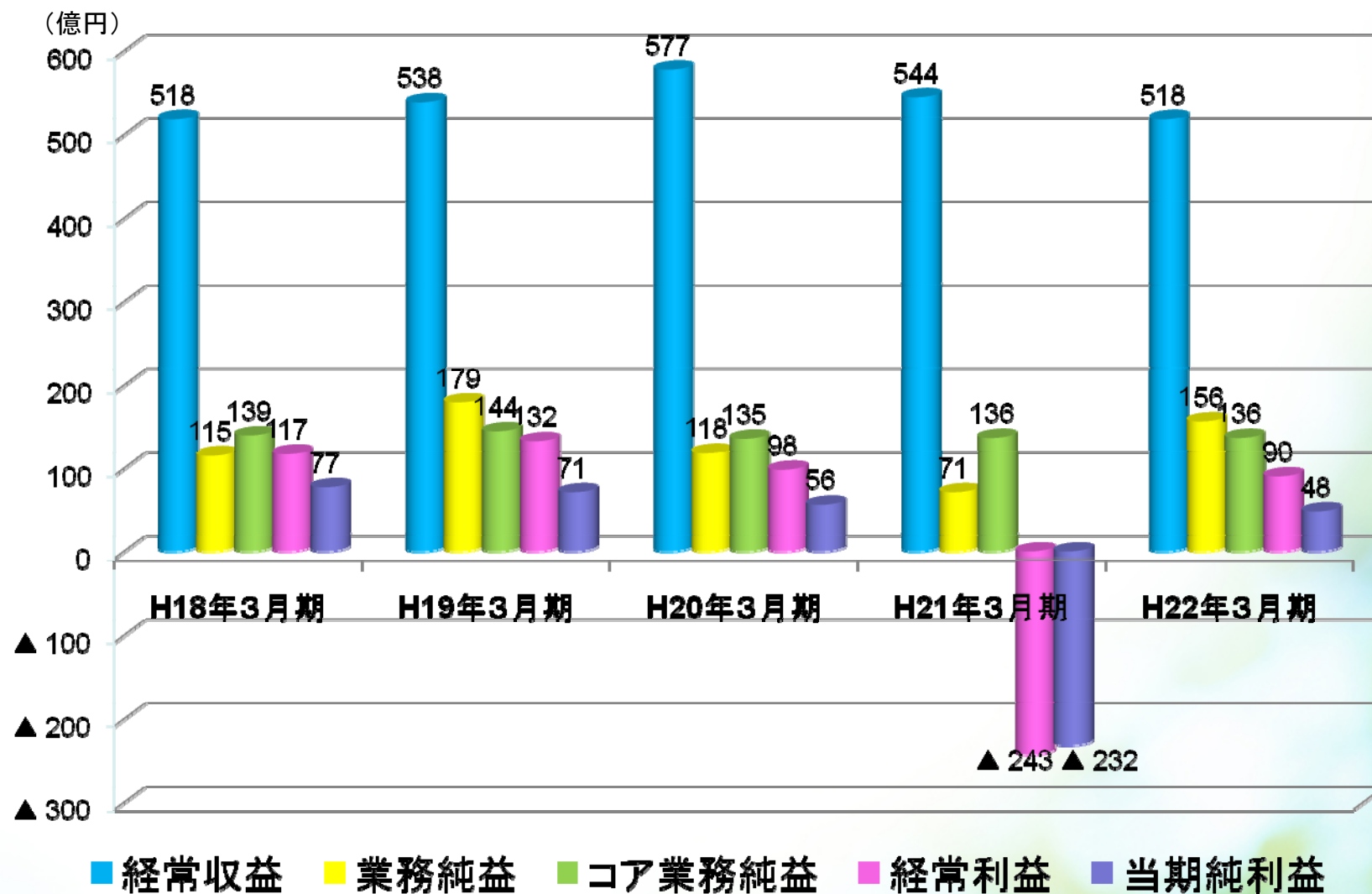
○業務純益……………156億円(前期比 +85億円)
(一般企業の営業利益に相当)

○コア業務純益……………136億円(前期比 +0.4億円)
(銀行本業の儲けを示す)

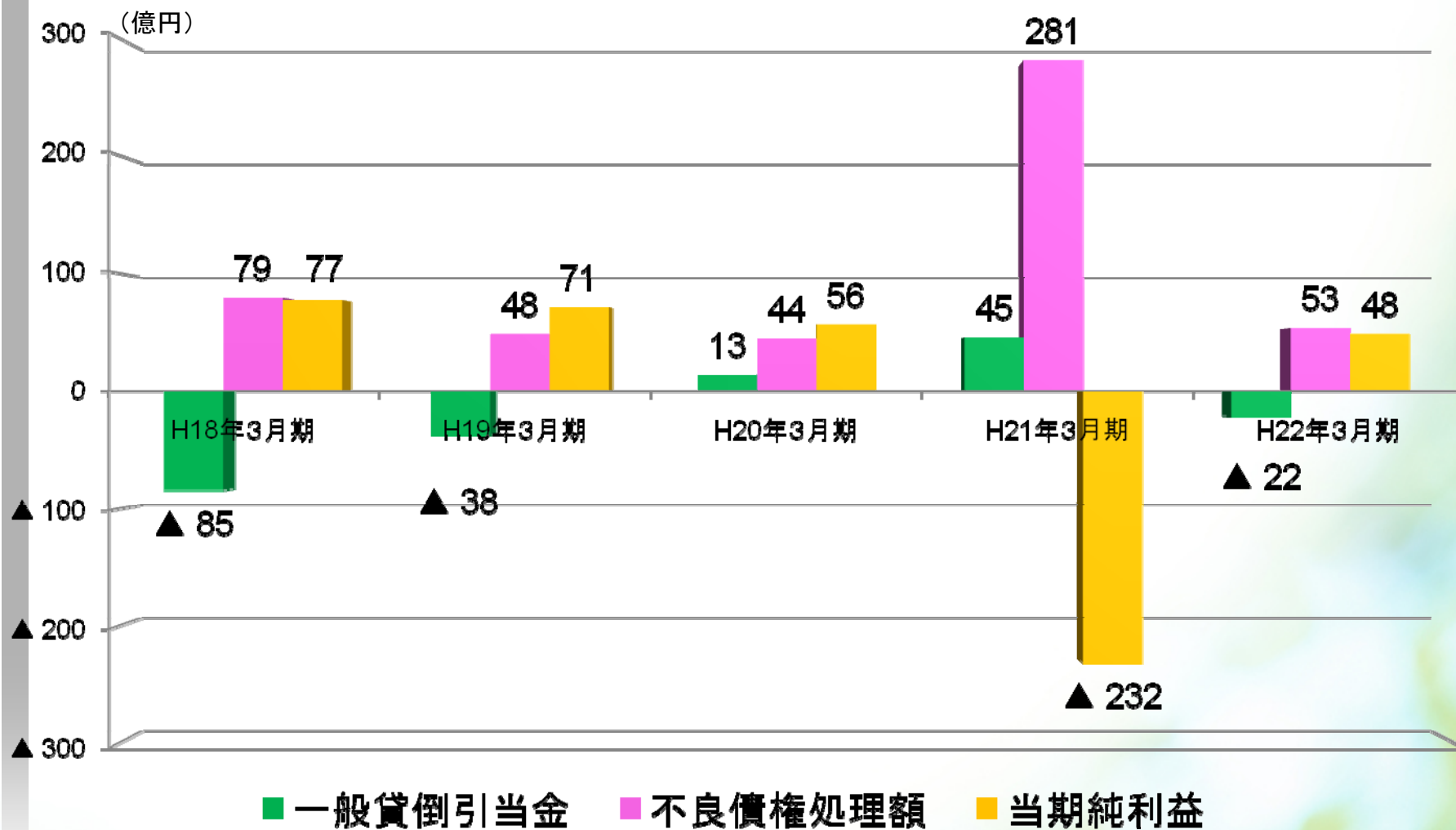
○経常利益……………90億円(前期比 +332億円)

○当期純利益……………48億円(前期比 +280億円)

1.収益の状況 :収益の推移について



1.収益の状況 :収益と与信費用の推移

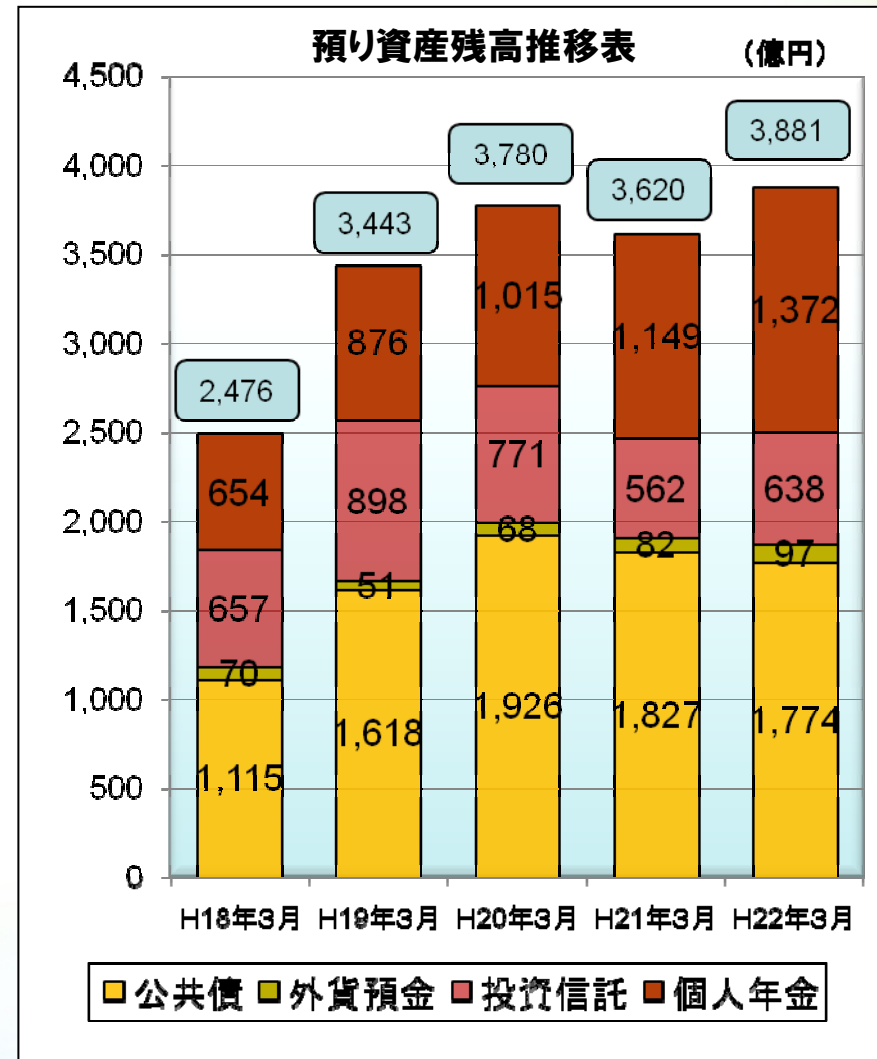
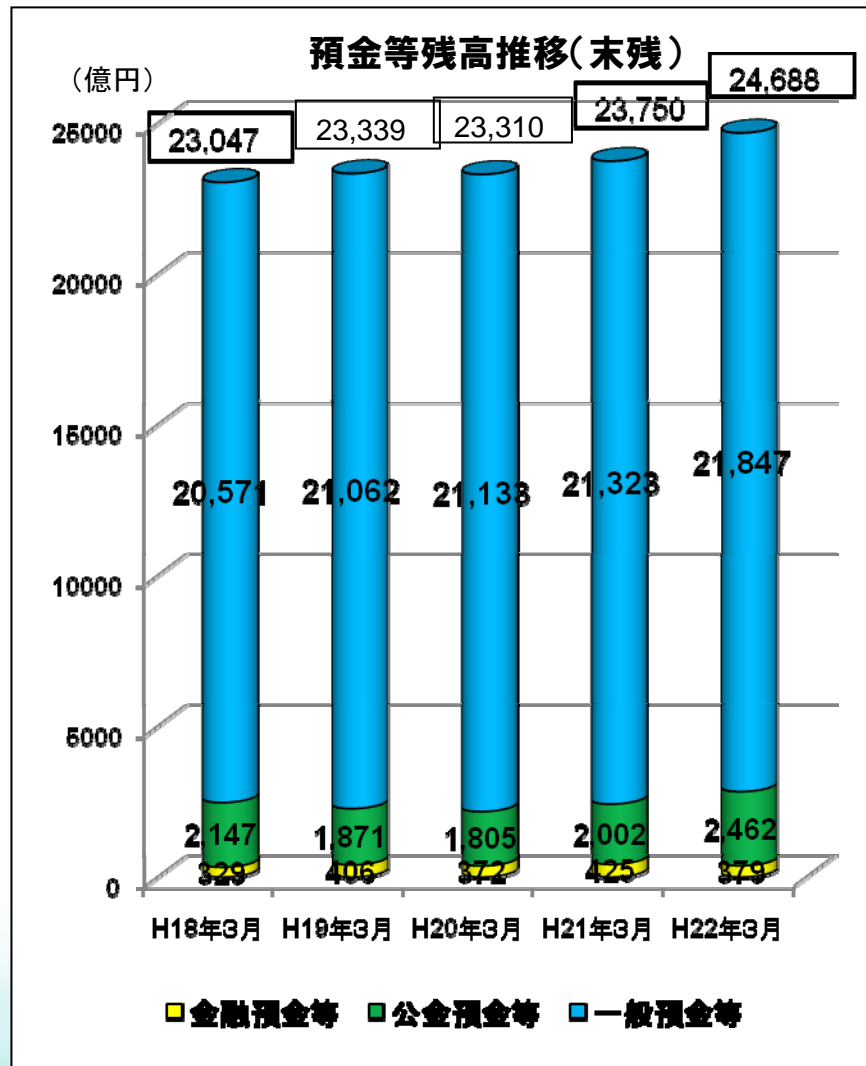


与信費用 = 一般貸倒引当金 + 不良債権処理額

2. 預金・貸金の状況: 預金・預り資産の状況

預金等(譲渡性預金含む)残高は、一般預金等を中心に堅調に推移。

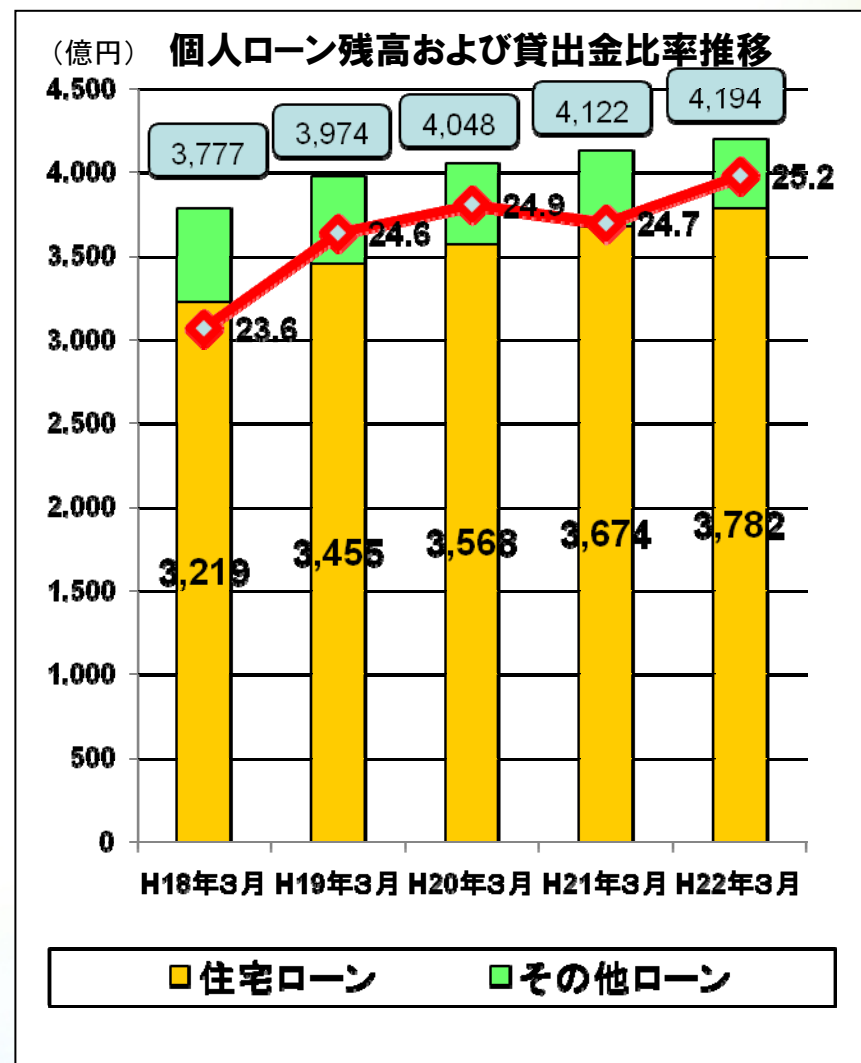
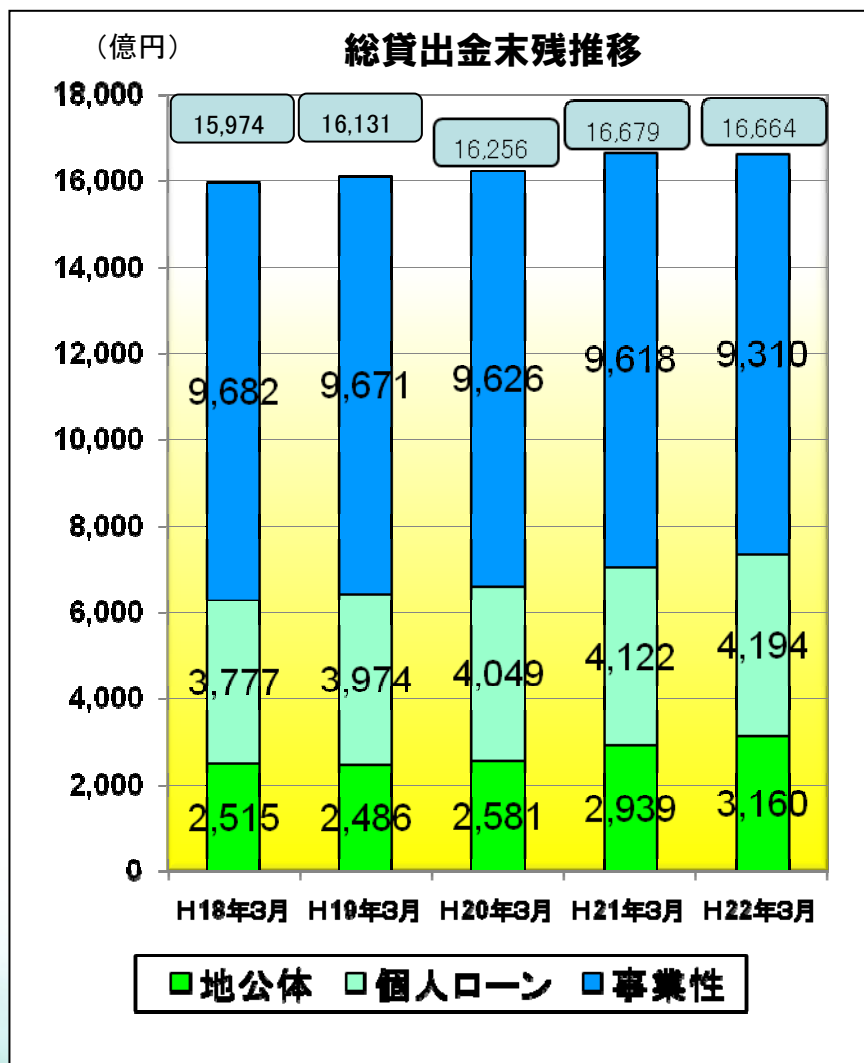
預り資産残高は、公共債は減少したものの個人年金の増加により前年比+261億円。



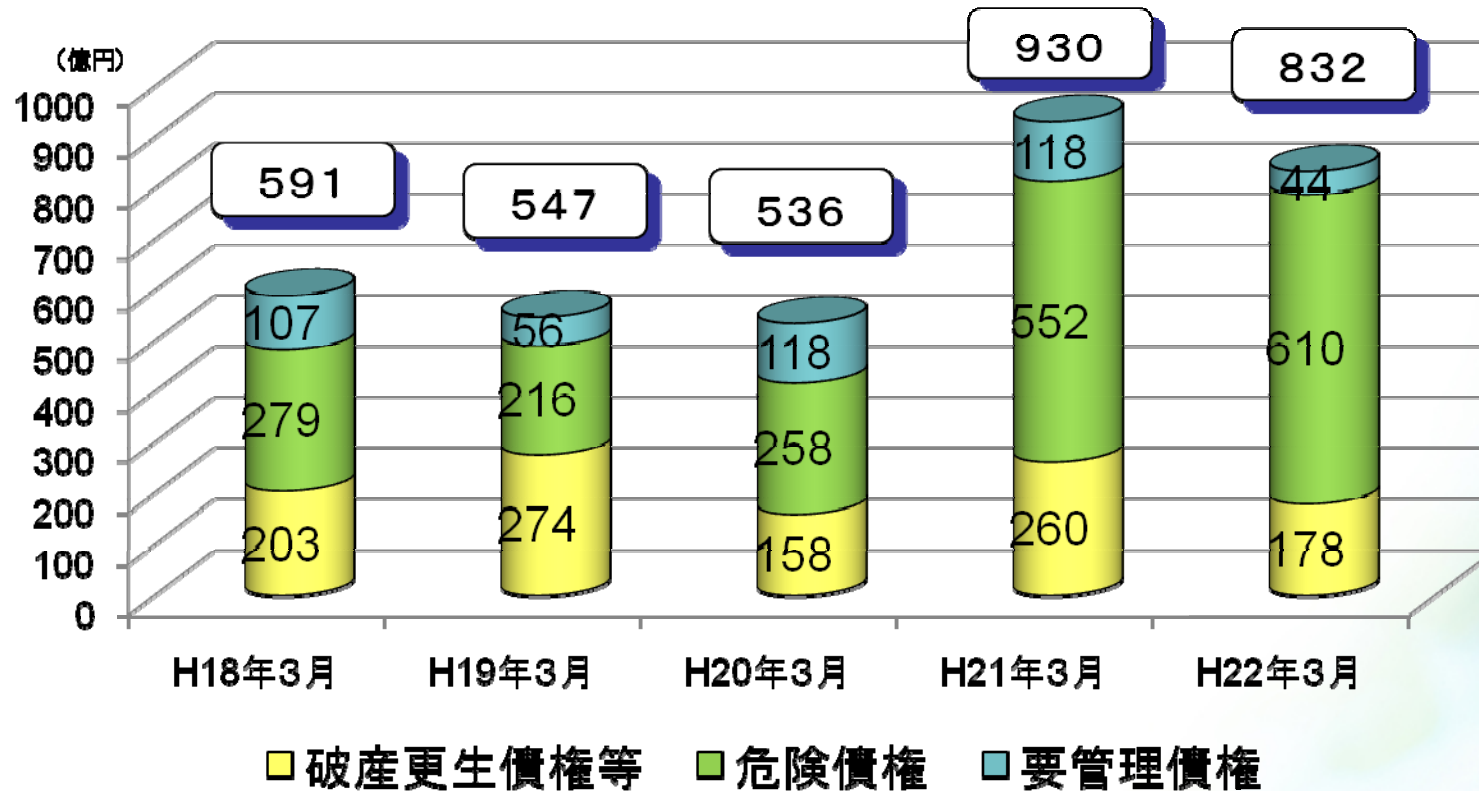
2. 預金・貸出金の状況：貸出金の状況

個人ローンおよび地公体向け貸出金の増加したが
事業性は前年比減少した。

個人ローンは、住宅ローンの堅調な伸びにより、前年比
72億円増加した。



3. 不良債権の状況(金融再生法基準)

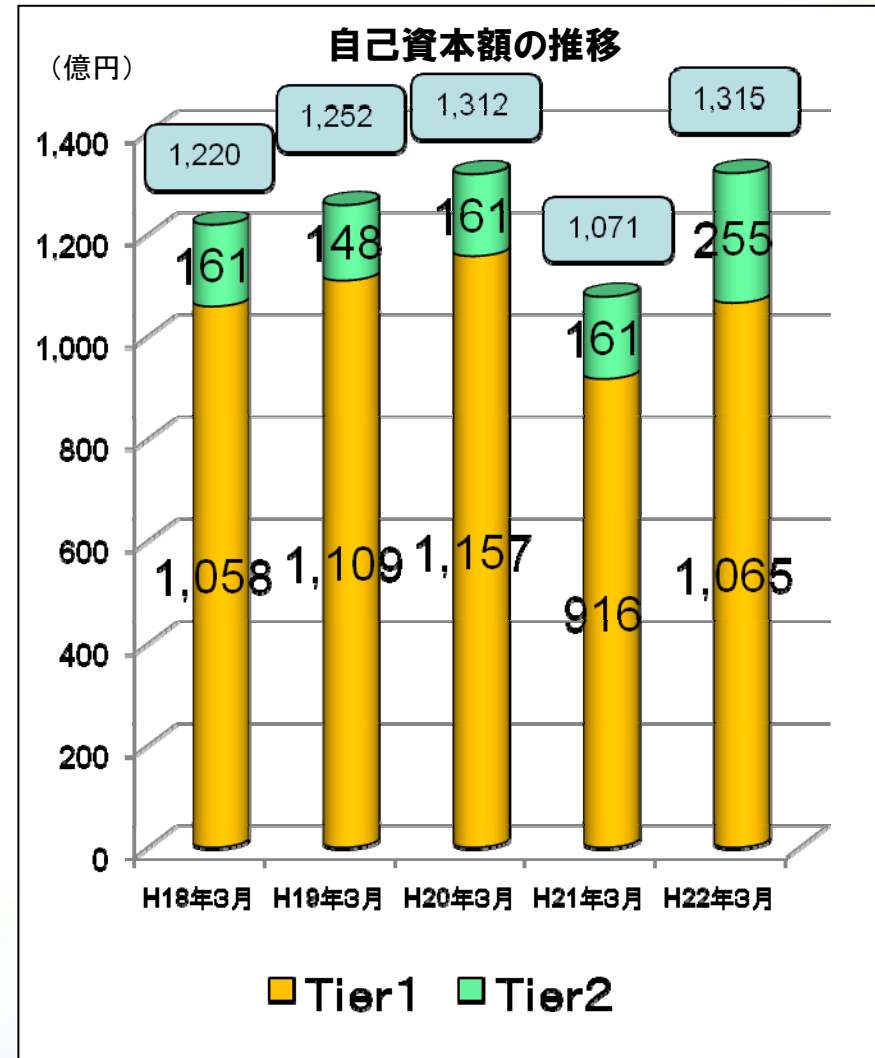
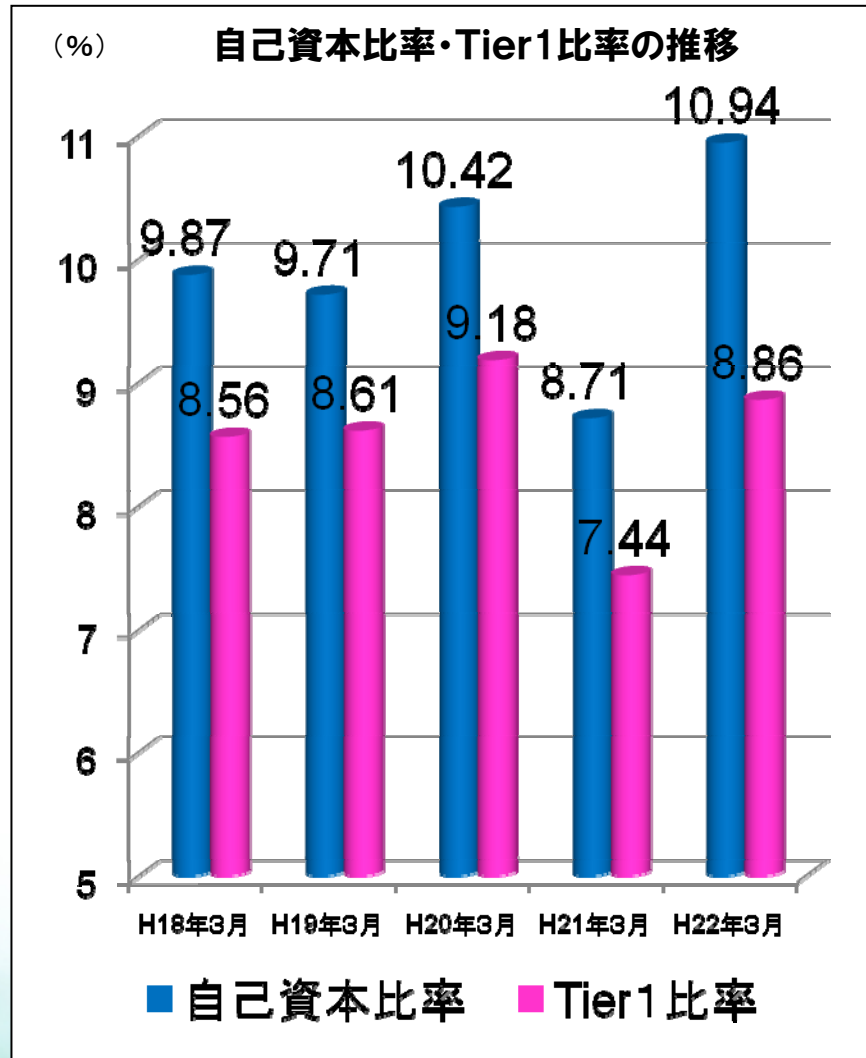


不良債権比率の推移

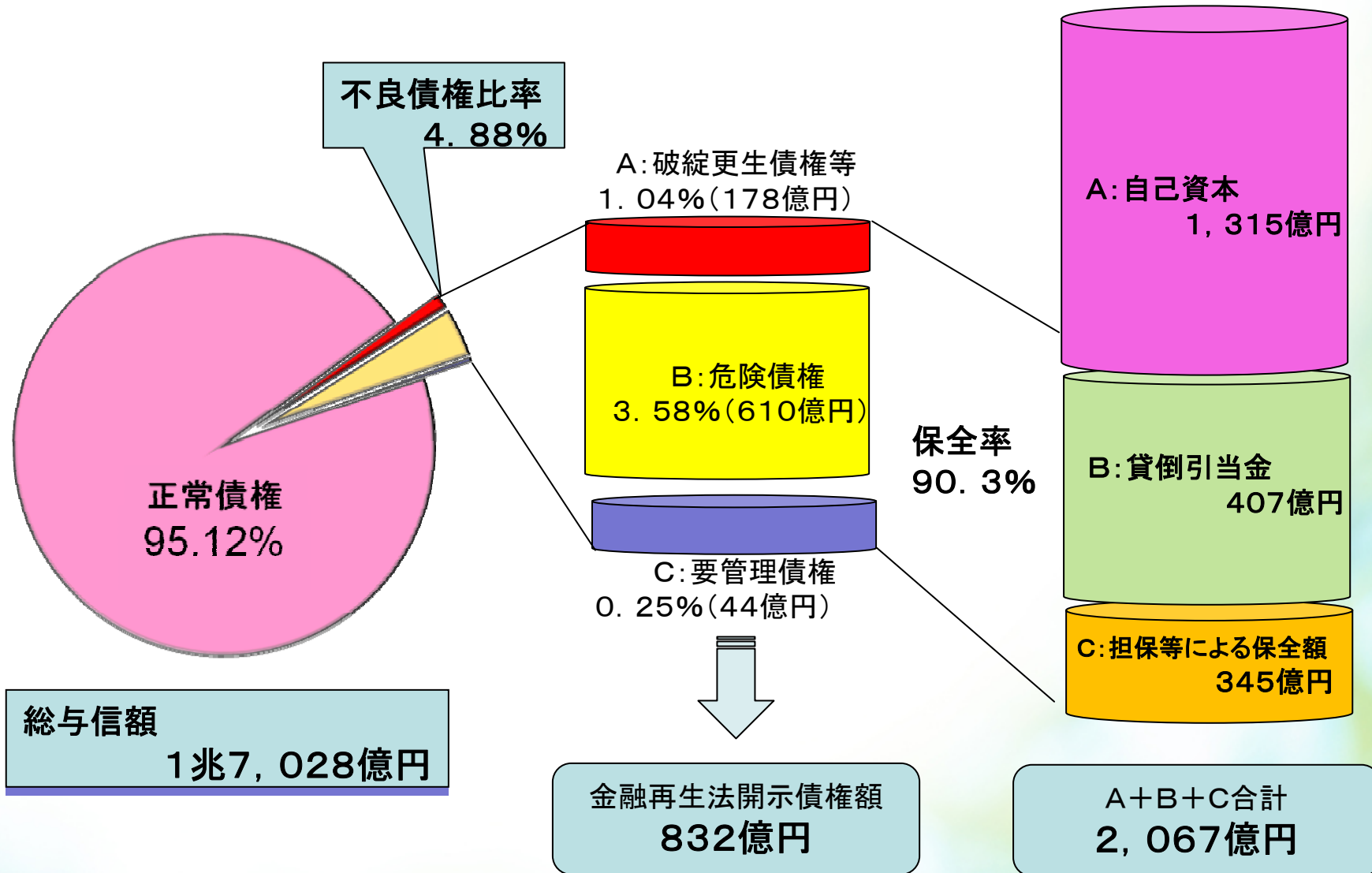
H18年3月	H19年3月	H20年3月	H21年3月	H22年3月
3.61%	3.30%	3.21%	5.43%	4.88%

4. 自己資本の状況

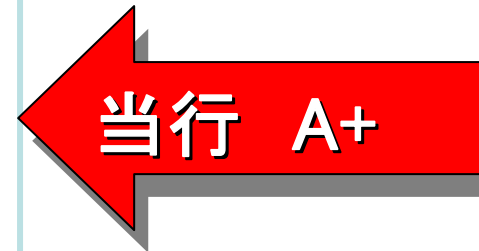
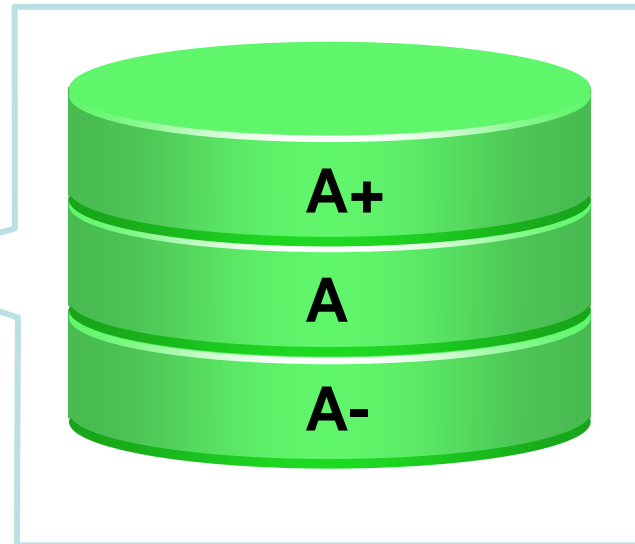
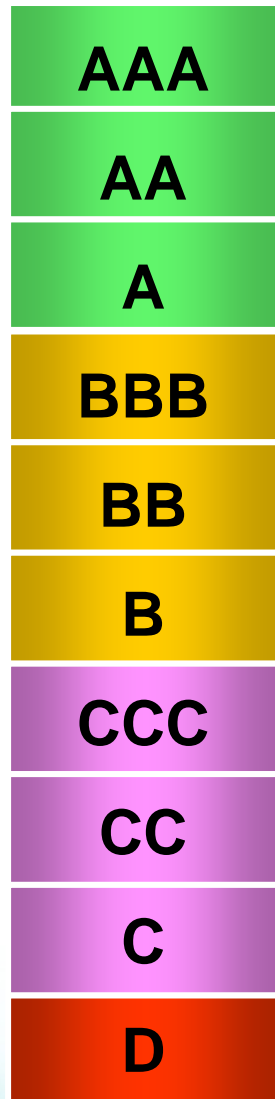
増資や当期純利益により自己資本比率は10.94%、Tier1比率8.86%へ大幅上昇



4. 自己資本の状況:金融再生法債権の保全状況



5. 格付け機関からの評価



格付け機関: 日本格付研究所 (JCR)
初回格付け取得日: 平成12年9月29日
直近格付け継続取得日: 平成22年2月4日

**A+を継続取得。
安全性・健全性が高く評価されております。**

「A+」の格付けランクは
Aを3段階にランク付けした中での最上位。

6. 今期(平成23年3月期)の業績予想

(単位:億円)

	H22年3月期	H23年3月期 (予想)	増減
コア業務粗利益	422	413	▲9
業務粗利益	420	410	▲10
資金利益	368	363	▲5
役務等利益	54	51	▲3
その他業務利益	▲2	▲4	▲2
(うち国債等債券損益)	▲2	▲3	▲1
経費	286	297	11
コア業務純益	136	116	▲20
一般貸倒引当金繰入額①	▲22	0	22
業務純益	156	113	▲43
臨時収支	▲66	▲51	15
不良債権処理費用②	54	40	▲14
株式等関係損益	▲9	▲3	6
その他臨時収支	▲3	▲8	▲5
(信用コスト①+②)	31	40	9
経常利益	90	62	▲28
特別損益	▲9	▲3	6
税引前当期純利益	81	58	▲23
当期純利益	48	36	▲12

Ⅲ. 地域密着型金融の推進について

1 新たなビジネスモデルへのチャレンジ

2 平成21年度取組み状況のご報告



大分県の代表的な祭り「府内紙戦(フナイパッチン)」参加風景

1. 新たなビジネスモデルへのチャレンジ

創造・大分銀行



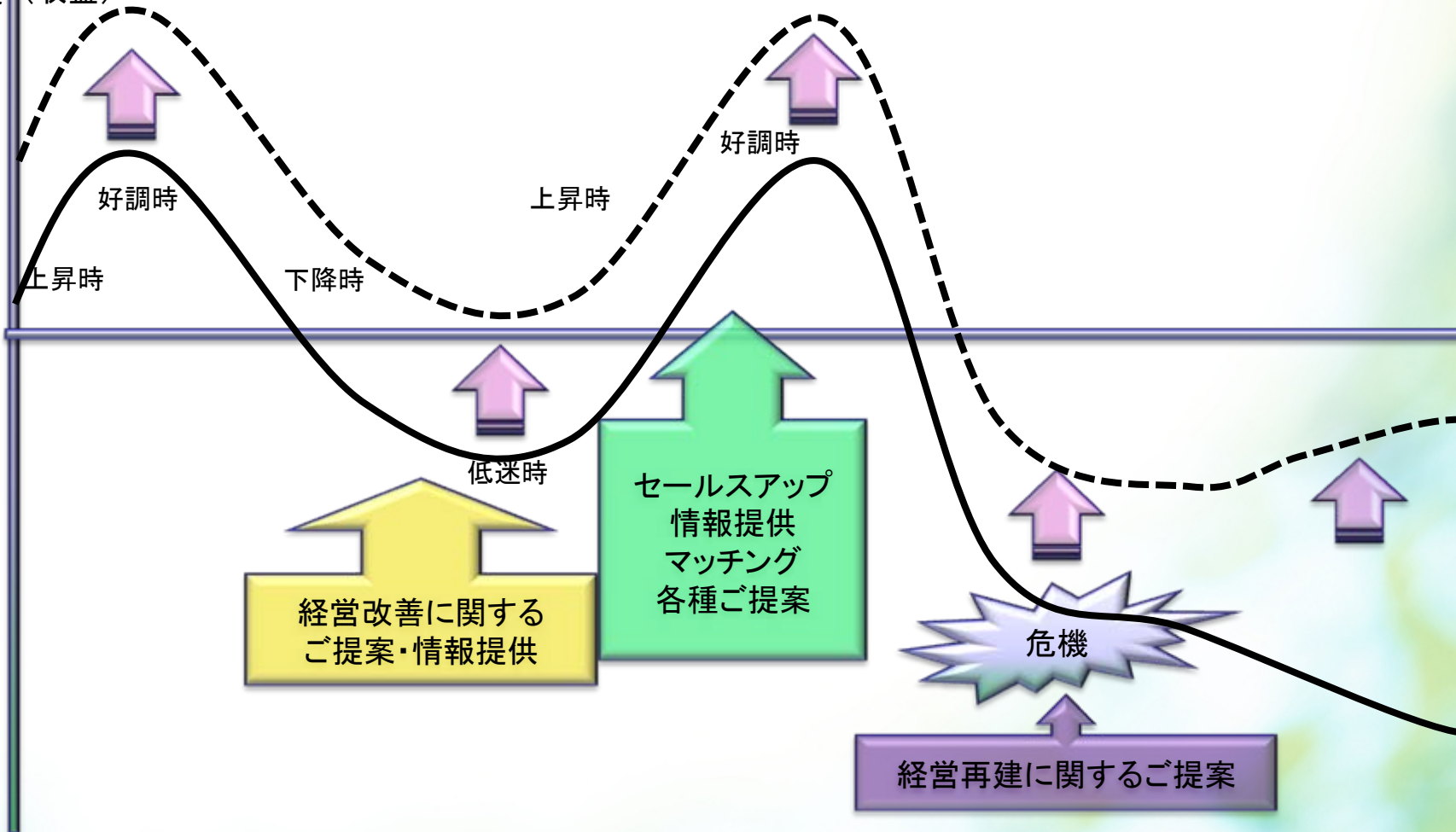
お客さまと真摯に向き合い、
「お客さまのために」を第一に考えます。

地域社会の期待に応え、
地域で圧倒的な支持を受ける銀行になります。

1. 新たなビジネスモデルへのチャレンジ

地域社会の繁栄に貢献するため銀行業務を通じ最善をつくす

業績 (収益)

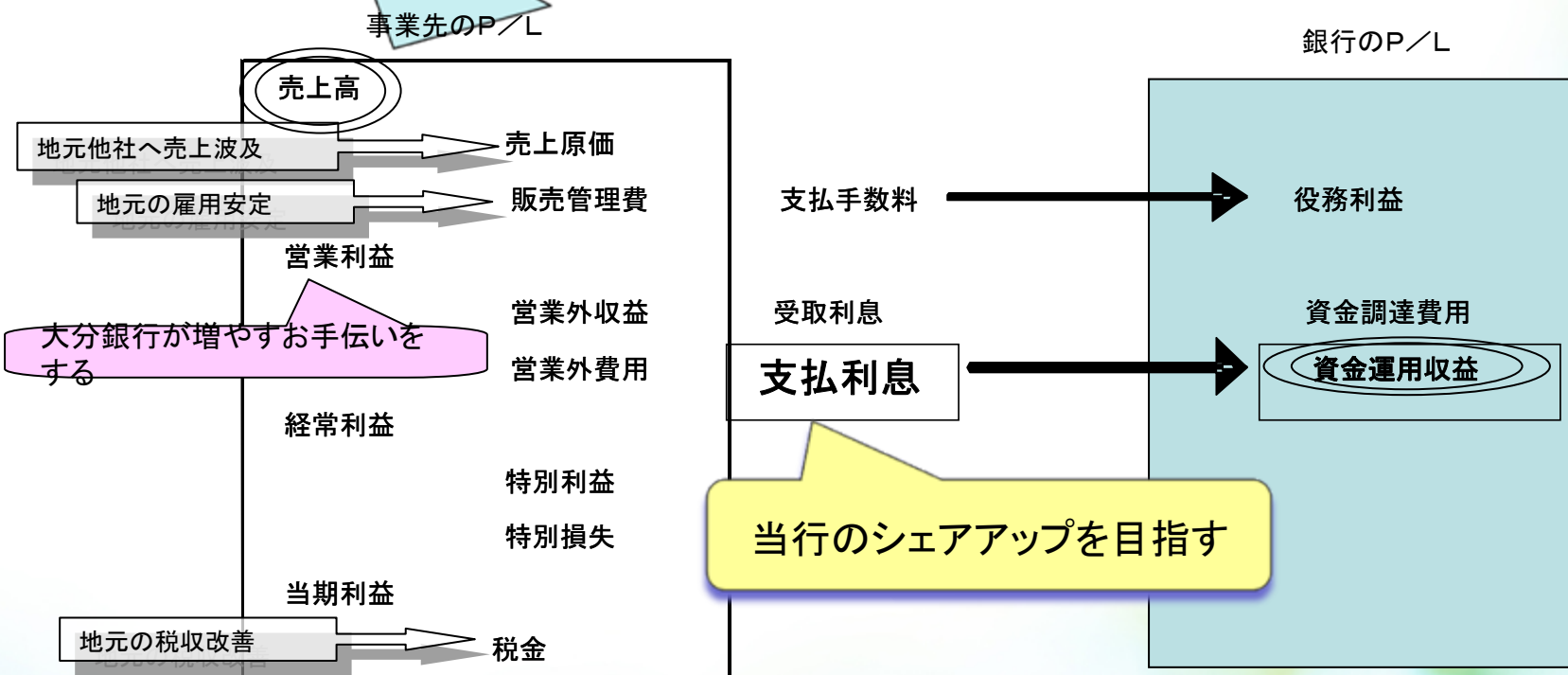


1. 新たなビジネスモデルへのチャレンジ

新たなビジネスモデルの構築

事業者の売上高改善支援を行う

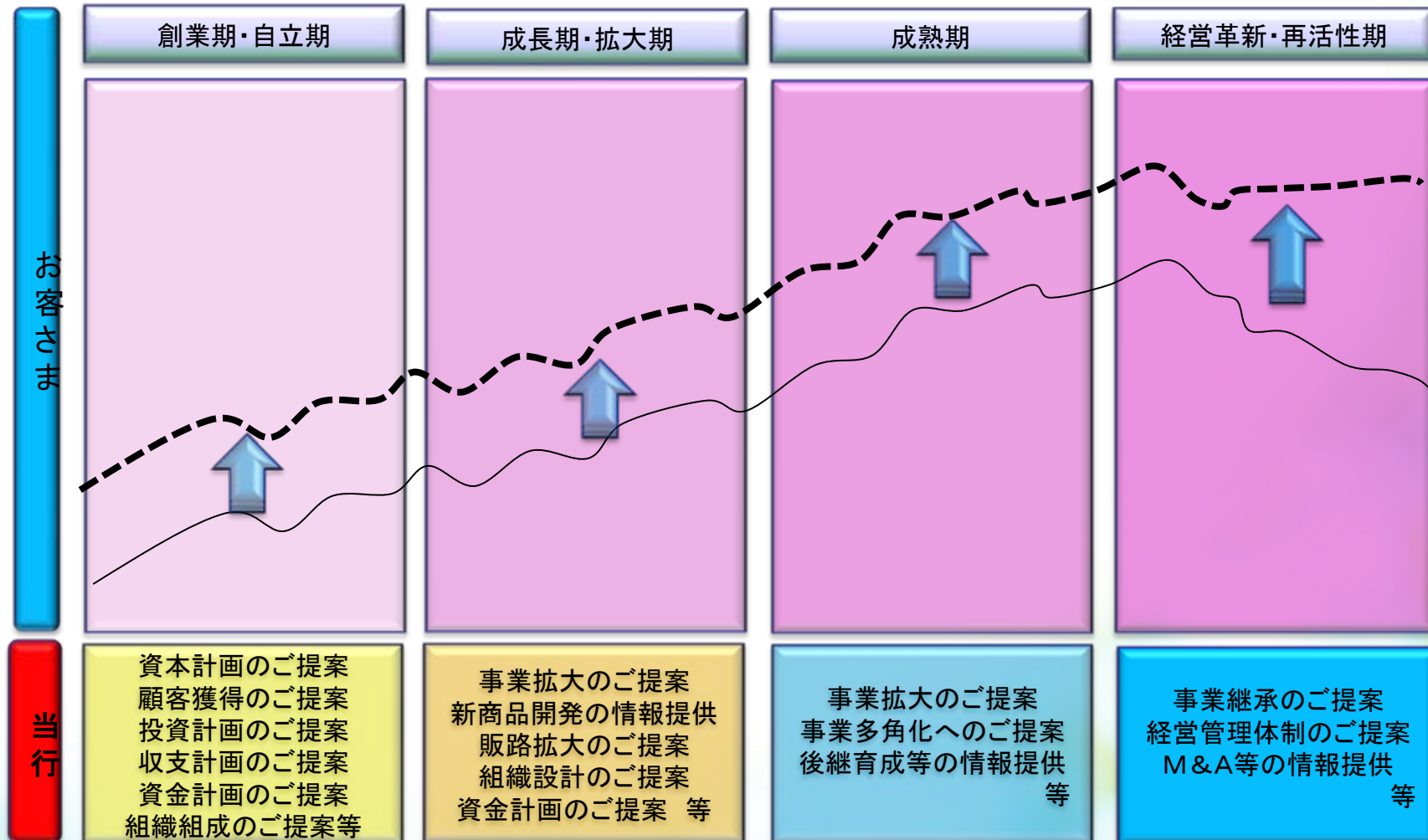
売上高の改善は事業者共通・不変のニーズ



WIN-WINの関係へ

1. 新たなビジネスモデルへのチャレンジ

ライフステージに応じた永いおつきあいをご提案します



1. 新たなビジネスモデルへのチャレンジ

県内法人営業体制の見直し

1. 県内法人営業人員の増員：今後3年間増員計画：90名
 - (1) 本部人員・内部事務人員の見直し
 - ★『仕事ダイエットチーム』の立ち上げ
 - ★『人員創出プロジェクトチーム』の立ち上げ
 - (2) 専任職・嘱託・パート活用の見直し
2. 店舗機能の見直し
 - (1) 店頭特化店からフルバンキング店への見直し
 - (2) 個人営業の集約(ローンプラザの再編・資産運用プラザ新設検討)
 - (3) 個人ローン専担者と資産運用専担者の配置
3. 融資推進人財の育成
 - (1) 『ビジネス支援チームの設置(H22年4月)』：OJTの推進
 - (2) 融資推進・指導審査役の本部設置：本部直接指導によるOJT
4. 営業支援システムの導入
 - (1) 定性情報の蓄積・共有化
 - (2) P・D・C・Aの平準化
 - (3) 報告物の削減

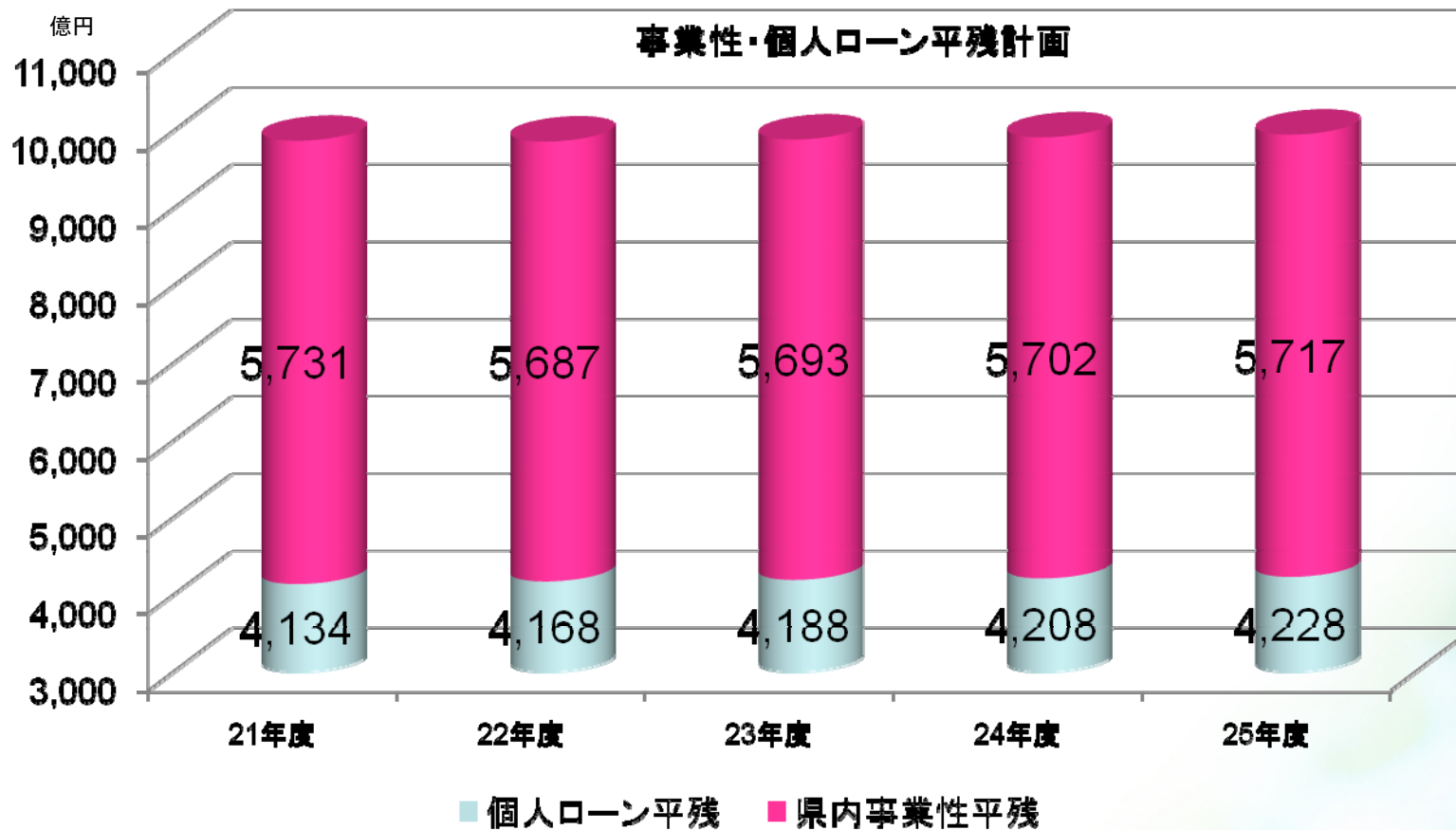
1. 新たなビジネスモデルへのチャレンジ

セールスアップ支援活動の基盤づくり

■取組み内容

- ①セールスアップ支援活動を実践する専門チーム(ビジネス支援チーム)を
営業推進部法人営業グループ内に6名配置。
(H23年度上期までに28名まで増員)
- ②「セールスアップ支援活動」を実践する専門チームを各ブロックへ設置方針。
- ③当該活動は、平成22年6月以降に本格稼動。主に以下の3つの役割を担う。
☆当行が持つお取引先の商流情報を活用し、お取引先の売上高増加に貢献することで、
地域経済活性化に寄与する。
☆お取引先の事業内容を深く理解し、当該活動を通じ、営業店の若手行員へOJTを行う。
☆取引先との強固なリレーションを構築する。
- ④営業支援システム(お取引先の商流情報蓄積)の構築に着手

1. 新たなビジネスモデルへのチャレンジ



平残計画年率					
年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
県内事業性	▲0.4%	▲0.8%	0.1%	0.2%	0.3%
個人ローン	1.9%	0.8%	0.5%	0.5%	0.5%

2. 平成21年度取組み状況のご報告

1. お取引先企業の経営支援強化

(1) ライフサイクルに応じた支援の実施 (創業・新事業支援)

■取組み内容

- ①「地域力連携拠点事業」の拠点認定
- ②ビジネスローンセンターにワンストップ相談窓口を設け、中小企業診断士を配置。

平成21年度活動実績	
ワンストップ相談窓口受付件数	864件
経営支援専門家派遣先・件数	13先/61回

(2) 大分ベンチャーキャピタル(株)との連携による経営改善支援強化

■取組み内容

大分ベンチャーキャピタル(株)との
業務提携によるお取引先の経営改善
支援実績

平成21年度活動実績	
経営改善計画書策定完了	16先
計画策定支援継続中	3先
ランクアップ先	0先

(3) 地域の中小企業に対する事業承継支援の強化

■取組み内容

- ①大分ベンチャーキャピタル(株)等の関連会社、外部支援機関等と連携
- ②お取引先の「奥さま向けセミナー」等
事業継承対策への関心喚起を実施

平成21年度活動実績	
事業承継相談受付件数	17先
自社株評価依頼件数	12先

2. 平成21年度取組み状況のご報告

2. 中小企業に対する融資手法の多様化

(1) カーボンオフセット・エコ私募債引受による資金調達手法の多様化

■取組み内容

- ①平成21年度の引受け実績は、19件/17億円
取扱開始（H20年10月）以降 30件/36億6千万



(2) 大分県農業信用基金協会との提携による円滑な資金供給

- ①平成21年度の大分県農業信用基金協会保証付融資の取扱い実績は20件/134百万円
- ②「第4回農業への異業種参入セミナー」を開催し、農業への参入ニーズのあるお取引先の支援を実施。

(3) お取引先への支援強化に取組める人財の育成

- ①「融資業務基礎研修」等の研修・セミナーの開催により、法人営業担当者のスキルアップを図った。
- ②地方銀行協会主催の各種研修に21名を派遣

2. 平成21年度取組み状況のご報告

3. 地域経済への貢献

(1) お取引先への情報提供

■取組み内容

セミナー名	参加者数
著名講師による講演会	約450名
農業参入セミナー	延べ70名
環境セミナー	約60名
国際ビジネスセミナー	約50名
ITビジネスセミナー	約50名
事業承継セミナー	15名
医療セミナー	約220名

(2) 商談会の開催

■取組み内容

- ①平成21年10月8日（木）に別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）にて国内企業100社、武漢市企業17社が出席した「第3回大分ビジネス・リンク」を開催



(3) 法人会員組織活動内容の充実

■取組み内容

- ①経営塾の開催：6回、ビジネスクラブ講演会の開催：4回、ビジネスクラブ交流会の開催：2回

IV. CSRへの取組み

1 環境への取組み

2 少子・高齢化への対応

3 地域社会への貢献



1. 環境への取組み

代表的な取り組み例

・営業店への「太陽光発電設備」の設置

平成21年9月移転・新築オープンした「賀来支店」
当行店舗では初めてとなる「太陽光発電設備」
を設置しエコ内装材を使用しました。
また、平成22年10月に完成予定の「南支店」は
太陽光発電に加え、LED(発光ダイオード)内蔵
看板や窓ガラスの二重化に対応する予定です。
今後の新設店舗でも環境に配慮して参ります。



・電気自動車の導入

環境問題への取組みの一つとして平成21年11月
に、県内の企業、また九州の銀行では初めて
電気自動車2台(三菱自動車工業株:i-MiEV)
を営業用車両として導入いたしました。



2. 少子・高齢化への対応

代表的な取り組み例

・ユニバーサル・サービス体験実習

高齢化社会の進展を背景に、お年寄りや体の不自由な方に対する接客サービスの向上を図るため、新入行員研修にユニバーサル・サービス体験実習を導入しています。

今年の研修では、106人の新入行員が車椅子操作や介助、視覚障がい者・高齢者の疑似体験等を行いました。



・サービス・ケア・アテンダントの配置

直接お客さまに接する行員の接客能力向上を目的に、社団法人公開経営指導協会主催の「サービス・ケア・アテンダント」の検定試験を導入し、29名の行職員が資格を取得、16カ店の営業店に資格取得者を配置いたしました。



3. 地域社会への貢献

代表的な取り組み例

・大分スポーツ公園総合競技場の ネーミングライツ取得

地域のスポーツと文化の振興に貢献するため、
大分スポーツ公園総合競技場の名称を
「大分銀行ドーム」とする協定を大分県と結びました。



大分銀行ドーム

・「別府アルゲリッチ音楽祭」の共催

地元の音楽家の育成と地元へ素晴らしい音楽を提供
する目的で、アルゲリッチ音楽祭への共催と
コンサート開催に伴うボランティア活動を継続して
います。



・「N響コンサート」の開催

3年に1度開催。都心部で開催する際の半額程度で
チケットを販売し、多くの方にお楽しみいただいています。

大分銀行
ウェンズディコンサート

・大分銀行ウェンズディコンサート

本店営業部の2階画廊フロアにおいて、毎月第2・第3水曜日に
開催。地域の芸術・文化の育成を目的に平成3年からスタート。
平成22年5月で19年目を迎えました。
地元音楽家の皆さまを中心に、演奏の場を提供するとともに、
ご来店のお客さまに素晴らしい音楽をお届けしております。



V. 配当・株価の状況

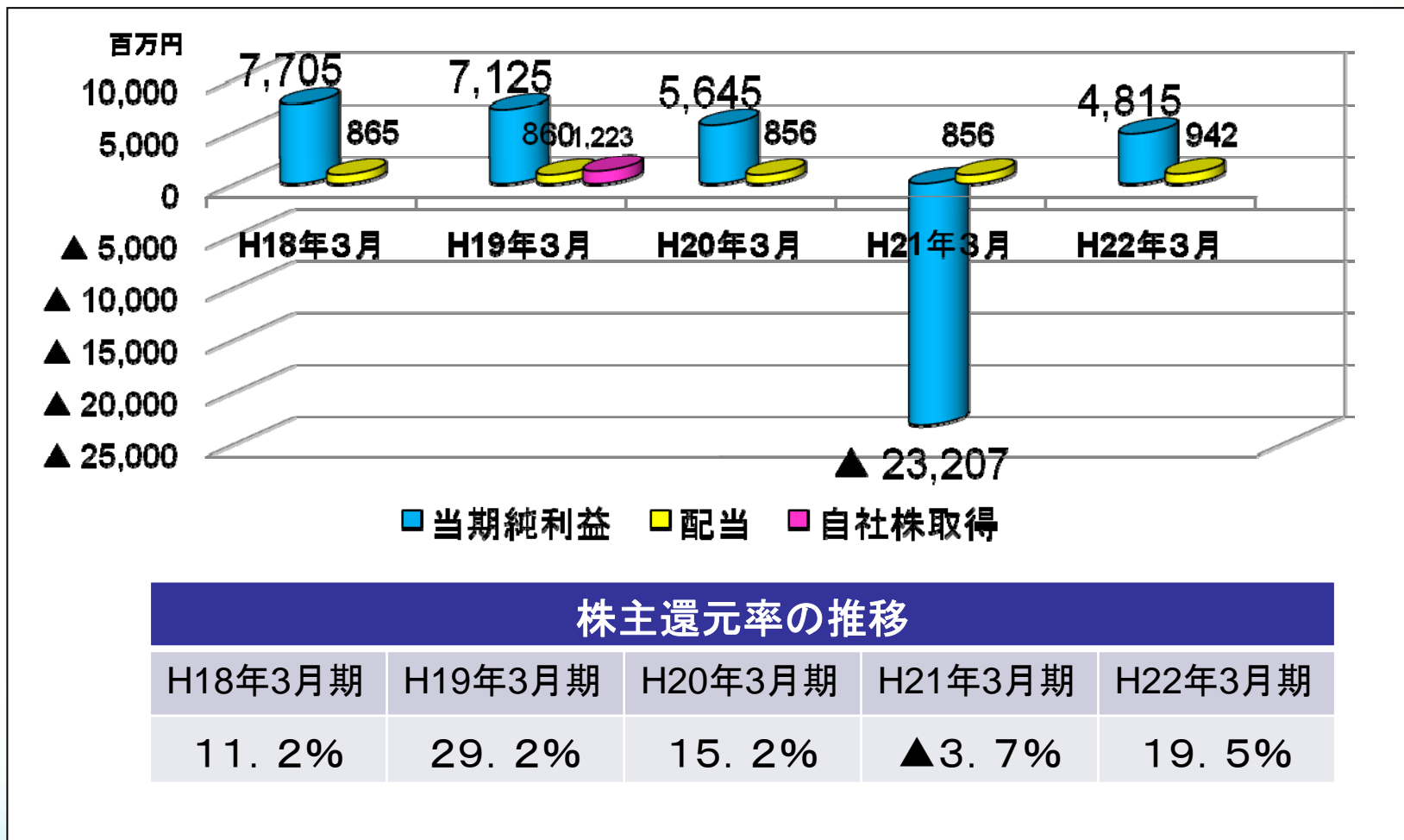
1 配当の状況について

2 株価の状況について



1. 配当の状況について

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、長期的かつ安定的な経営基盤の強化と経営の効率化並びに内部留保の充実に努めており、安定配当を継続実施していく方針です。



株主還元率の推移

H18年3月期	H19年3月期	H20年3月期	H21年3月期	H22年3月期
11.2%	29.2%	15.2%	▲3.7%	19.5%

2. 株価の状況について

(円)

銀行名	H21.8.24株価	H22.3.31株価	変動率(%)
当行	389(新株発行価格) ※終値:404円	344	▲11.57% 新株発行価格対比
ふくおかFG	415	397	▲4.34%
西日本シティ銀行	240	276	+15.00%
鹿児島銀行	747	657	▲12.05%
肥後銀行	592	520	▲12.16%
宮崎銀行	390	283	▲27.44%
佐賀銀行	328	268	▲18.29%
十八銀行	298	281	▲5.70%
日経平均	10,581.05	11,089.94	+4.81%
銀行業(東証一部)	385.93	346.66	▲10.18%

本資料についての補足

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであります。
将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社大分銀行 総合企画部 広報CSRグループ
担当：小野・幸

TEL：097-538-7617 FAX：097-538-7620

ホームページアドレス：<http://www.oitabank.co.jp/>

以上



地域をみつめ 未来をみつめ

大分銀行